

令和3年度就労支援に関する取組について

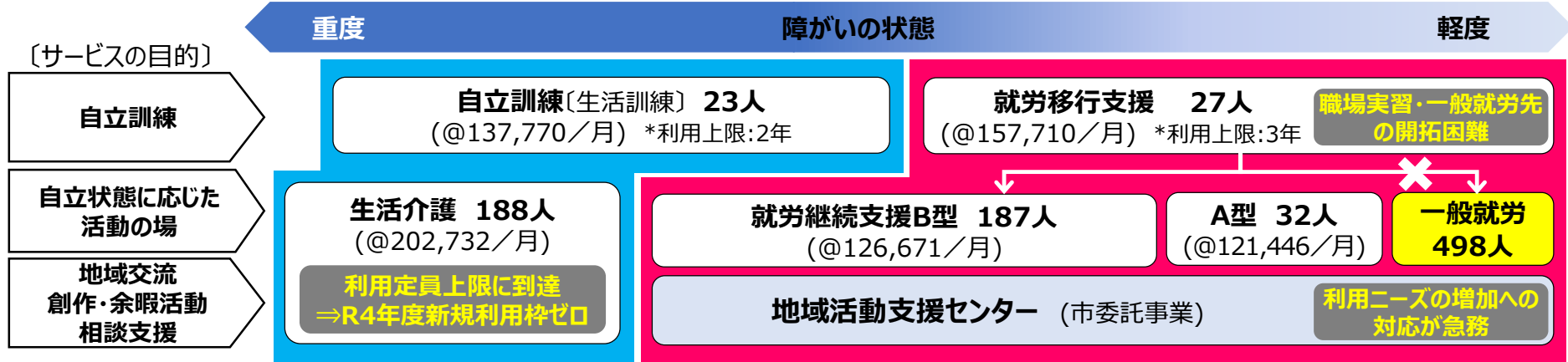
- 1 障がい者雇用について……………p. 2～6
- 2 「虹のマルシェ」等の運営について…p. 7～9

福祉保健部 福祉課

1 障がい者雇用について

障がい者支援に係る日中活動系サービスの状況

【日中活動系サービスの位置付けと現状と課題】



課題

- ① 令和4年度以降の「生活介護」の受皿の確保
- ② 支援困難な「強度行動障がい」への対応

方向性

- ① 就労支援B型の生活介護サービスへのサービス変更等による受皿の確保
- ② 事業所間の協力体制の構築

課題

- ① 就労希望の就労移行支援、就労継続支援B型利用者の一般就労への移行
- ② 社会との交流促進を通じた地域共生社会の実現

方向性

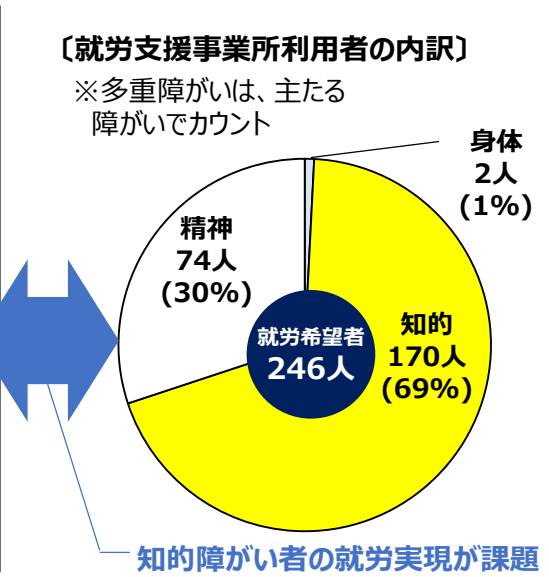
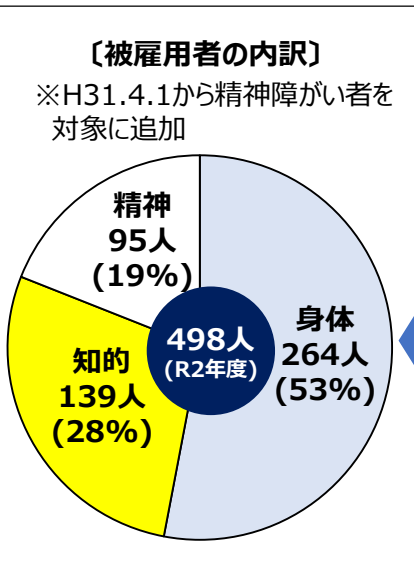
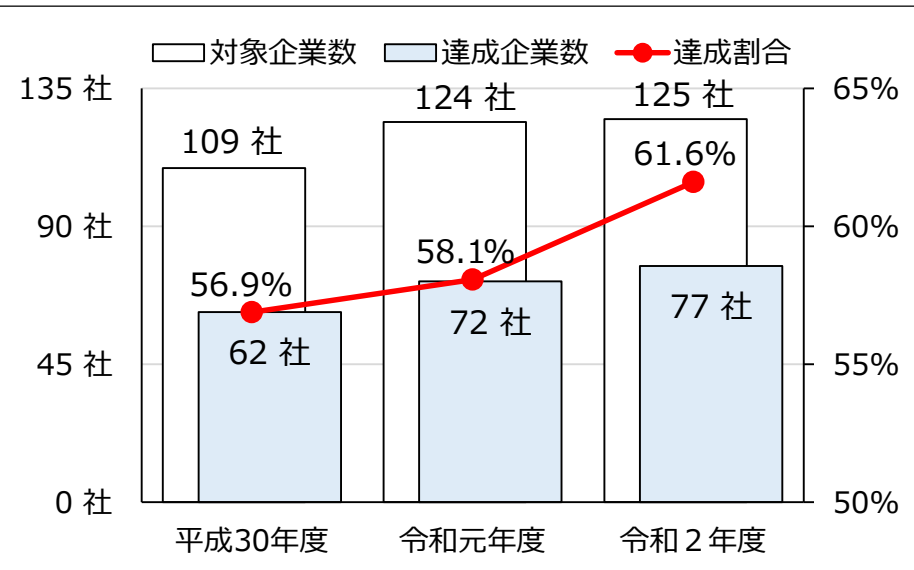
- ① 「隼より始めよ」 三条市役所における障がい者雇用の促進 障がい者雇用支援企業との連携による就労先の確保
- ② 地域活動支援センター機能の充実

〔施設整備が必要となる課題に対する解消策のイメージ〕



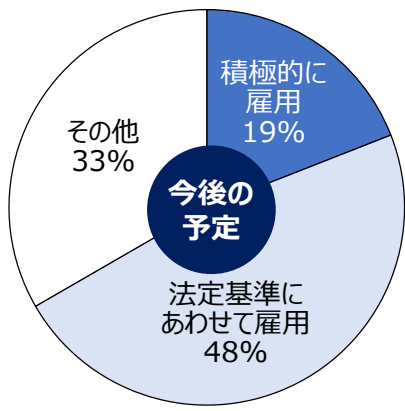
障がい者雇用の現状

【障がい者雇用法定雇用率達成状況（企業ベース）】



達成企業に対する意識調査結果

(法定雇用率を超えて雇用している企業：20社+市役所)

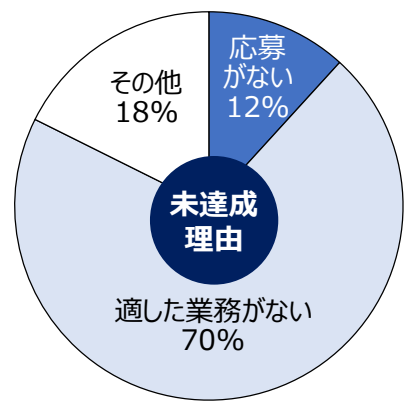


更なる雇用に係る懸念事項(複数回答可)

適した業務がない	36%	9社
施設・設備の配慮	4%	1社
社員の理解	24%	6社
定着支援	20%	5社
給与・処遇・コスト	12%	3社
その他	4%	1社

未達成企業に対する意識調査結果

(法定雇用率未達成企業：48社)



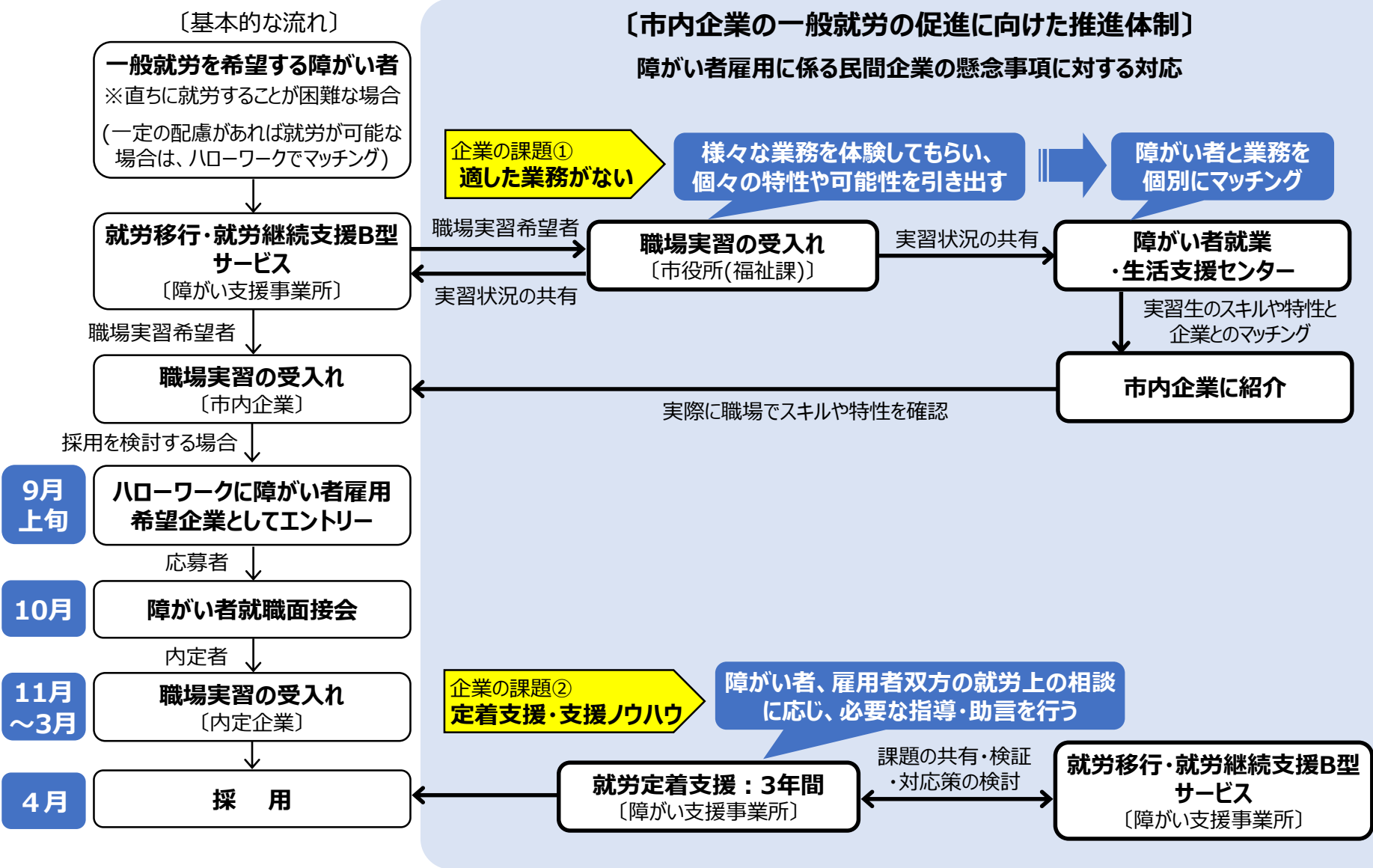
雇用に係る懸念事項(複数回答可)

適した業務がない	28%	21社
施設・設備の配慮	20%	15社
社員の理解	9%	7社
支援ノウハウ	28%	21社
給与・処遇・コスト	7%	5社
その他	7%	5社

障がい者雇用に当たっては、達成企業、未達成企業ともに、「適した業務がない」ことを懸念しており、加えて、「社員の理解」や「支援ノウハウ」「定着支援」が課題

障がい者雇用の促進に向けて

【障がい者雇用の促進に向けた今後の推進イメージ】



企業の懸念事項を「職場実習の受入」「個別マッチング」「定着支援」により払拭し、障がい者雇用の促進していく

地域活動支援センター機能の充実

〔令和3年度〕

類型	実施主体
I型	(福)青空福祉会
II型	(福)ひめさゆり福祉会
III型	(福)県央福祉会

〔令和4年度〕

類型	実施主体
I型	(福)青空福祉会
II型	(福)社会福祉協議会
III型	(福)県央福祉会

総合福祉センターを会場に、各種団体との連携による創作活動やスポーツ活動のほか、花壇づくり・施設の清掃等を通じ、社会との交流・創作・生産活動の促進を図るもの

II型	(株)スタートライン
------------	-------------------

株式会社スタートライン 障がい者雇用支援サービス『BAISEN』の事業概要

業務内容：①珈琲豆の焙煎・加工ブースの提供と障がい者雇用支援
②珈琲の販売等を通じた地域交流活動の促進
③三条産珈琲の開発・加工・販売システムの構築

事業規模：20ブース・就労人数80人(障がい者60・その他20)

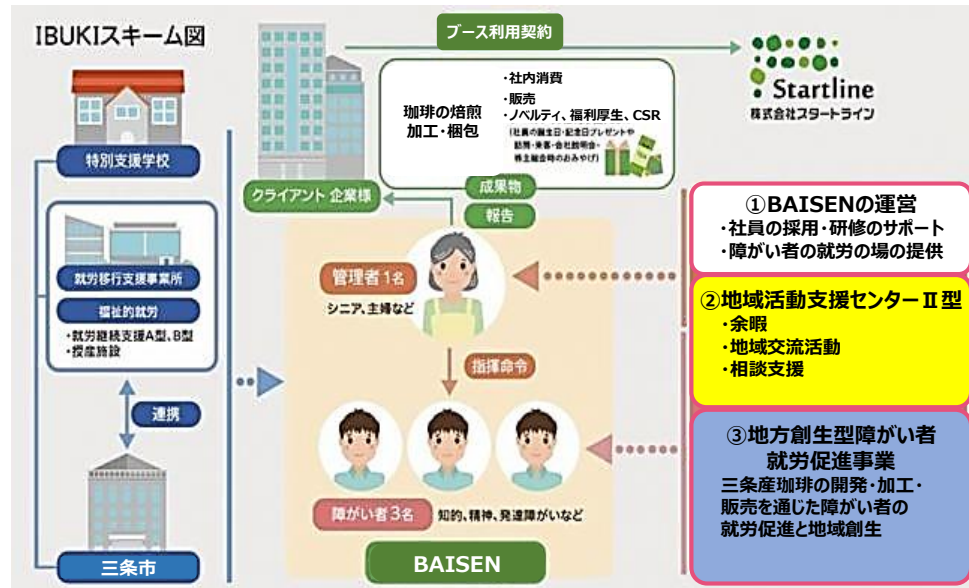
開設予定：令和4年4月(11月の取締役会で正式決定)

開設場所：三条市内(「ホクリク総業」社屋跡地)

連携内容：②地域活動支援センター【II型】を委託
(利用障がい者60人のため2事業所に分けて事業を展開)

③地方創生型障がい者就労促進事業の委託
(社員として地域おこし協力隊を3人雇用し事業を展開)

事業効果：障がい者60人の雇用の実現



就労移行支援、就労継続支援A・B型利用者がBAISEN(一般就労)へ移行することは、障がい者の経済的自立や地域共生社会の実現につながる。

また、移行に伴い、就労系サービスの利用者の大幅な減少が見込まれることから、それらの既存資源を活用し、現在不足している生活介護サービスの充足を図る。 ※相談支援に関する取組にて説明

2 「虹のマルシェ」等の運営について

虹のマルシェの実施及び福祉ギャラリーの活用について

【課題】コロナ禍等により、障がい福祉サービス事業所における授産品の販売機会が減少



販路を確保し、事業所の収益及び事業所利用者の工賃の向上につなげる機会が必要

虹のマルシェの開催

市内の障がい福祉サービス事業所が製造しているお菓子や雑貨等を販売するイベント。R3.6月から開催
〔日時・場所〕
①毎月第4水曜日11:00～@三条市役所正面玄関
②毎月不定期開催13:30～@総合福祉センター1階ロビー
〔参加事業所〕
I WORKS、いからし工房、きずな工房、さくら、杉の子工房、すてっぷ、ともしび工房、ピュアハウス、らいふ・すていしょん

福祉ギャラリーでの販売

市内の障がい福祉サービス事業所や特別支援学校が製造しているお菓子や雑貨等を常設で無人販売。日中を含め、夜間や日曜日等、窓口が開設している際は、購入可能
〔場所〕 市役所低層棟「市民総合窓口」前
〔参加事業所〕
いからし工房、きずな工房、さくら、杉の子工房、すてっぷ、ともしび工房、ピュアハウス、らいふ・すていしょん、月ヶ岡特別支援学校

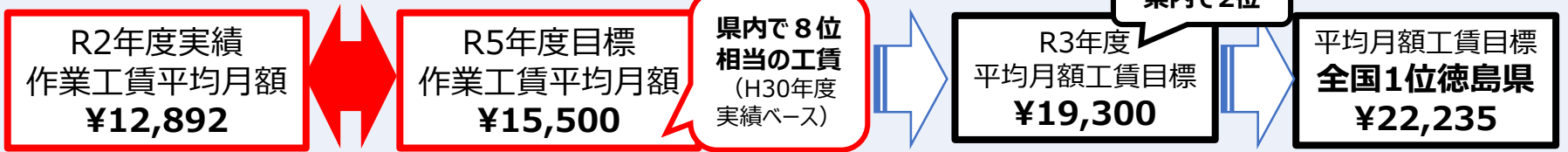


【虹のマルシェ作品展の開催】

三条市内の障がい福祉サービス事業所利用者が、「希望」というテーマで作品を制作し、10/23～26の間、三条市体育文化会館にて、「虹のマルシェ作品展」を開催した。来場者には投票を依頼し、投票数が多かった作品を用いてオリジナル商品を開発する。(次頁参照)



【作業工賃平均月額目標値】



障がい支援事業所オリジナル製品のPR・販売用の自動販売機の設置について

〔寄贈者〕 株式会社山谷産業 様
 〔寄贈物品〕 飲料・食品・物販併用自動販売機(屋外対応・保冷機能付・10品目(最大140個収納)タイプ)

障がい支援事業所
 オリジナル製品
 (販売商品イメージ)



ラッピング 作品展:10/23~26
 候補図案選定:10/27~

三条市展にあわせて実施した「虹のマルシェ
 作品展」(障がい者の作品展)の作品から図
 案を選定

〔作品展示予定数：141点〕

いからし工房	13
杉の子工房・長久の家	34
手をつなぐ育成会	85
青空福祉会	9

設置場所



スケジュール

11/2(火)

寄附贈呈式
 ※目録

自動販売機発注
 ~デザイン
 ・商品動作検証

R4.3月下旬

お披露目・販売開始セレモニー
 &
 「虹のマルシェinえんがわ」

※ラッピングのデザインについては、「虹のマルシェ作品展」の来場者アンケートで
 投票数の多かった作品上位20点から寄附者と市長で選考

※デザインの採用数などにより、前・後・左・右の配置を含むデザインを決め、
 ラッピング完成後、お披露目・販売開始セレモニーで採用作品の作者を発表

幅745×奥行756×高さ1,830mm
 ※ラッピングは白色部分4面(前・後・左・右)